

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	基礎柔道整復学3	講義	2	40	柔道整復学全般
学科 ・ 学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 1年	南沢 悟	☐ 有 ☒ 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
多様化する社会において柔道整復師の役割も変化してきている。機能訓練指導員の専門性を活かし、障がい者を評価、社会福祉分野における柔道整復師の専門性を活かせる領域を模索する。器質的な問題を踏まえながらのスポーツサポートの問題点、改善点も検討する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
【助言】 各障がいにおいて異なる症状をお持ちのため、部分的に基礎疾患系の知識(リハビリテーション医学)を学んでおく必要がある。 運動器(特に骨)の解剖学の知識が必要となってきます。基本的な骨の名称、部位名の復習を行う。 【学習支援】 レポート作成と、出席率を重要視します。提出物の提出期限と、欠席回数に注意する。					
教科書・参考書					
柔道整復学 理論編・実技編					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 【 受講科目受講時留意点 】 ●礼節を重んじ「授業前の準備(パソコンとプロジェクター)」「授業開始・終了時のあいさつ」「教室使用後の清掃」を確実に行うようにして下さい。					
成績評価方法					
評価 方法	評価 割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期 試験	100	・授業への出席率とレポートを作成し評価および定期試験にて評価する。			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		・障がい者スポーツの意義と理念 (障がい者スポーツの理念(Drグッドマンの考え方や功績、実践上・指導上の理念)) <u>初級障がい者スポーツ指導者講習①</u>		/	南沢
2		・コミュニケーションスキルの基礎 (障がい特性に応じたコミュニケーション方法。実践、演習を通して人前で話すこと、相手の意見を傾聴することを体験) <u>初級障がい者スポーツ指導者講習②</u>		/	南沢
3		・障がい者スポーツ推進の取組み (障がい者スポーツ指導者制度の概要 地域の障がい者スポーツ協会や 指導者協議会について) <u>初級障がい者スポーツ指導者講習③</u>		/	南沢
4		・障がい者スポーツに関する諸施策障がい者福祉施策とその変遷 <u>初級障がい者スポーツ指導者講習④</u>		/	南沢
5		・安全管理 (スポーツ指導者の安全配慮義務 基礎的な対処法について (救命手当、応急手当、AED、CPR等)) <u>初級障がい者スポーツ指導者講習⑤</u>		/	南沢
6		・各障がいの理解① 身体障がい (肢体不自由、視覚障がい、聴覚・音声言語障がい、内部障がいを含む) <u>初級障がい者スポーツ指導者講習⑥</u>		/	南沢
7		・各障がいの理解② 身体障がい (肢体不自由、視覚障がい、聴覚・音声言語障がい、内部障がいを含む) <u>初級障がい者スポーツ指導者講習⑦</u>		/	南沢
8		・各障がいの理解③ 知的障がい (発達障がいを含む) <u>初級障がい者スポーツ指導者講習⑧</u>		/	南沢
9		・各障がいの理解④ 精神障がい <u>初級障がい者スポーツ指導者講習⑨</u>		/	南沢
10		・スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質 (ボランティアの魅力、ボランティアの心得、留意点) <u>初級障がい者スポーツ指導者講習⑩</u>		/	南沢

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		・全国障害者スポーツ大会の概要 全国障害者スポーツ大会の歴史、 開催の意義・目的。大会競技規則の 原則（基準要綱、基本方針など） <u>初級障がい者スポーツ指導者講習⑩</u>		/	南沢
12		・柔道整復師の沿革 柔道整復術の基本概念		/	南沢
13		・業務範囲とその心得 業務範囲内における柔道整復術 および施術限界		/	南沢
14		・柔道整復師倫理要領 社会奉仕の理念に基づく柔道整復 術の活用形態		/	南沢
15		・指導管理 患者の環境の把握および環境に 対する指導管理		/	南沢
16		・自己管理に対する指導 患者とのコミュニケーションおよび 対面時にまもるべきルール・話方		/	南沢
17		・的確な判断と医療連携 業務範囲内における対応範囲 および業務範囲外においての 判断基準・評価法		/	南沢
18		・外傷予防 バイタルサインを理解し、コンディショ ニングにおけるパフォーマンスの変化 を 把握する		/	南沢
19		・特異的予防 外傷が発生しやすい活動の理解と 予防への取り組みおよび報連相		/	南沢
20		・まとめ		/	南沢